

看護学部生・保護者のみなさまへ

本年4月に看護学部長に就任した安藤です。本来であれば、入学式やガイダンスでご挨拶させていただき予定でしたが、緊急事態宣言を受け、授業開始が延期となりましたので紙面を借りてご挨拶とお願いをさせていただきます。

学生はもとより保護者のみなさまも、今後の学修がどうなるのか、安全な学生生活が送れるのか、学生生活が維持できるのか等、様々な不安を抱いていらっしゃると思います。本学では学生の健康と安全を第一に考えると同時に、学修の機会を保証すべく必要な対策の準備をしておりますので、大学が始まるまでの期間を、安全に有意義に過ごしていただきますよう切にお願い申し上げます。

在校生のみなさんには、看護学部の学生として新型コロナウイルス問題から学んでいただきたいと思います。未知の感染症が命を脅かすだけではなく、政治・経済を含む人々の生活全般に大きな影響を及ぼすこと、ウイルスは人種、国籍、性別を問わず、世界中の人々に感染するが、拡散の仕方や致死率（感染者に占める死亡者の割合）は国や地域によって異なり、命の格差を生じていること、命の格差が生まれる要因は、医療体制や国の政策だけではなく、人々の正しい知識と自分自身の問題ととらえる認識、適切な行動変容であること、感染症や公衆衛生の専門家、医療専門職の役割がとても重要であり、私たちはそうした専門職を目指していることなど、です。専門家は「正しく恐れる」ことが重要と述べています。自分自身と家族、周囲の人々が正しい知識を持ち、適切な行動ができるよう、学んだ知識や技術を生かして力を発揮してください。

新入生のみなさんは、これからの学生生活のイメージがつかめないこともあり、さらに不安が大きいと思います。授業開始時に円滑に学修が始められるよう近日中に課題を送付する予定ですので、必ず取り組んでください。また、課題ではありませんが、この時間をチャンスと考え、本を読むことをお勧めします。看護学は多様な価値観や生活歴を持つ人々を援助する実践の科学です。ジャンルを問わず、興味関心のある本を読みましょう。

最後に、学生の日頃の生活を支えて下さる保護者のみなさまや、地域みなさまに感謝の意を表すると共に、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年4月13日  
看護学部長 安藤智子